

# ALLwatch Tips

2012 年 2 月号  
オムロンソフトウェア株式会社

「ALLwatch」は弊社が提供するモニタサービスの総称です。

## Igr アダプタ使用上の注意点

昨年末に弊社の遠隔監視装置 SW150LF/LF8 に Igr を測定できる付加装置「Igr アダプタ」を発売いたしました。この「Igr アダプタ」は従来市場で販売されていた Ior 測定漏電監視装置と使い方が若干違いますのでご紹介いたします。

### (1) 「Igr アダプター」は測定用の電圧信号を常時印加する必要があります

- ① Igr 測定では電圧信号と電流信号の位相ずれを検出して  $I_r$  と  $I_c$  を別々に検出しています。計測時に位相差を検出するためには電圧信号と電流信号が必要です。
- ② 今まで市場で販売されていた多くの「Ior 測定漏電監視装置」では計測を開始する時に電圧を印加し電流との位相差をメモリーに残し、その位相差を計測の基準にするために通常の計測時には電圧信号は印加されておりません。そのために負荷が変わると位相差に変動が出て正確な  $I_r$  が検出できなくなります。
- ③ この欠点を是正し正確な Igr 値を提供するために常時電圧を印加する方法にしています。

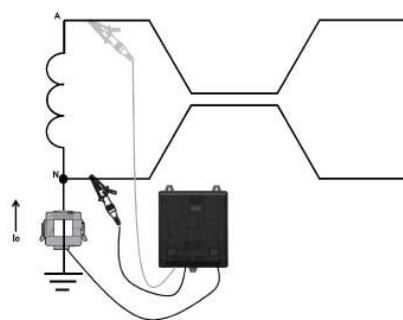
### (2) 配線について

(1) で述べたような理由で弊社のアダプターでは計測対象のトランス毎に電圧取得用ケーブルが必要になります。例えば三相と単相のトランス 1 台ずつの計 2 台のトランスの測定を Igr アダプタで行う場合は、以下の 6 本ケーブルを接続します（なお以下の①、②、③のケーブルは本体に同梱していません）。

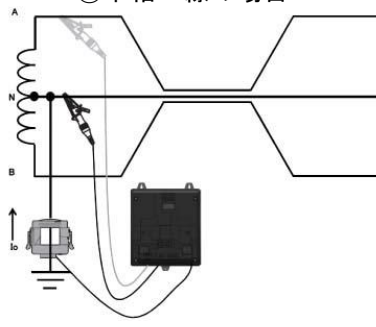
- ① 単相トランス用の計測用電圧信号ケーブル、② 三相トランス用の計測用電圧信号ケーブル
- ③ アダプタ本体用の電源ケーブル(単相 100V)、④ 単相トランス用の ZCT 向けケーブル
- ⑤ 三相トランス用の ZCT 向けケーブル、⑥ アダプタのデータを弊社監視装置に送るインターフェースケーブル

### (3) 計測用電源の取り方

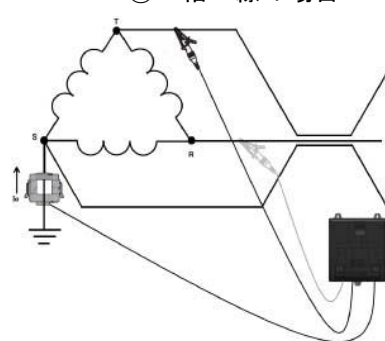
① 単相の場合



② 単相 3 線の場合



③ 三相 3 線の場合



### (4) 装置の起動

全部の配線が終了したら以下の順序で電源を入れてください。

- ① 計測用電圧の印加
- ② 「Igr アダプター」本体の電源印加

「Igr アダプター」本体の電源を印加した時に計測用のデータを収集しています。測定場所の変更、ZCT の架け替えなどを行った時は、必ず「Igr アダプター」本体の電源を切り「リセット」してから再度電源を印加して下さい。

この案内に関するお問い合わせは、下記のフリーダイヤルにて承っております。



0120-053-606 (土・日・祝日を除く 9:30~17:30 (12:15~13:00 を除く))